

事業目的

県内企業が、その強みを最大限に発揮し、着実に成長発展を遂げるには、企業が有する技術・ノウハウ、ネットワーク、人材、経営理念など財務諸表には現れない知的資産(=企業価値)を的確に把握できるよう可視化し、経営に活用していくことが必要です。

このような経営手法が知的資産経営と言われており、他府県においては金融機関が企業向けに知的資産経営セミナーを実施するなどして浸透しつつあるが、沖縄県においては普及が課題となっています。本事業においては、県内で知的資産経営を普及させるための各種取組を実施します。

事業の4つの取り組み

1 普及啓発

知的資産経営への意識・関心を高めるためにシンポジウム、セミナーを実施

2 支援員養成講座

金融機関・支援機関の支援員を対象とした知的資産経営の概要と知的資産経営報告書の作成方法についての講義と実習

3 知的資産経営の手法習得支援(基礎講座、作成支援)

- ①県内の企業を対象とした知的資産経営に関する講義や取組事例紹介、自社の知的資産経営報告書(サマリー版)の作成実習
- ②中小企業診断士が企業に赴き、知的資産経営報告書の作成を支援

4 知的資産経営報告書活用検討委員会

県内における知的資産経営報告書の活用推進に向けての検討

事業スケジュール

<p><b>1 普及啓発</b></p> <p>①知的資産経営普及啓発シンポジウム (知的資産経営の概要、取組事例紹介)</p> <p>②知的資産活用セミナー (金融機関、支援機関向け)</p>	<p>《開催日》平成28年7月14日(木) 14:00~17:00 《会場》沖縄県立博物館・美術館 2階講堂</p> <p>《開催日》平成28年7月15日(金) 14:00~17:00 《会場》沖縄県立博物館・美術館 博物館講座室</p>
<p><b>2 知的資産経営報告書作成支援員養成講座</b></p>	<p>《開催日》各機関と調整の上決定</p>
<p><b>3 知的資産経営の手法習得支援</b></p> <p>①知的資産経営基礎講座</p> <p>②知的資産経営報告書作成支援</p>	<p>《開催日》平成28年8~11月(予定) 4グループ、各5回開催</p> <p>中小企業診断士が企業現場に赴き6回支援 基礎講座終了後~平成29年2月(予定)</p>
<p><b>4 知的資産経営報告書活用検討委員会</b></p>	<p>平成28年度 全5回開催(予定)</p>

# あなたの会社のかくれた「強み」 もっと活用しませんか!

~かくれた「強み」の活用で企業価値が伸びる!~

企業が勝ち残っていくためには、差別化による競争優位の源泉を確保することが必要です。大きなコストをかけなくても、視点を変えて身の回りにある「知的資産(見えざる資産)」を活用すれば、差別化できるのです。



知的資産活用で  
沖縄の企業を元気に!!

# 知的資産経営とは

従来のバランスシート上に記載されている資産以外の無形の資産であり、企業等における競争力の源泉である、人材、技術、技能、知的財産(特許・ブランド等)、組織力、経営理念、顧客とのネットワークなど、財務諸表には表れてこない、目に見えにくい**経営資源の総称を知的資産**といいます。

また「強み(知的資産)」をしっかりと把握し、それをステークホルダー(社員・株主・取引先・金融機関等)に「見える化」することで業績の向上に結びつけることを「**知的資産経営**」といいます。



## あなたの会社の隠れた「強み」、探してみませんか？

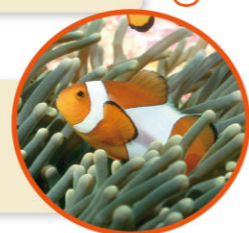
あなたの会社には、あなたが「強み」と気づいていないもっとアピールできる優れた点があるはずです。

会社の本当の「強み(知的資産)」は決算書にはのっていません。あらためて棚卸しが必要です。

会社の「強み(知的資産)」を棚卸して、会社の収益に繋げるツールとして「知的資産経営」があります。

「知的資産経営」を実践して、取引先、金融機関等に、会社の「強み」をアピールしませんか。

隠れている「強み」を見つけてよう



# 事業に参加した企業の声

CASE 01

### 質問1 知的資産経営に興味をもった理由は？

きっかけは事業承継。昨年年初に新聞で事業承継の記事を読み、自社の承継について考えるようになった。セミナーに出たりアンテナを張っている時に当事業の開始を知り申し込んだ。事業の引継に関心を持ったタイミングで当事業に出会えて良かったと思っている。

### 質問2 事業に参加して大変だったことは？

特に大変ということはないが、スタッフが参加する時間をつくれるかが一番の課題でかつ取組の鍵がある。弊社は社長以下6名で参加し、中心メンバー以外にもできるだけ様々なメンバーが参加できるように配慮した。

### 質問3 事業に参加して得たものや、良かったことは？

はじめて幹部社員とディスカッションしながら今後の会社の方針を決めることができた。会社の歴史を掘り下げ知的資産経営報告書にまとめたり、全社員で強み・弱みの分析を行ったりすることで社員の会社への理解が深まり、自社の取組についてまわりにもしっかりと伝えることができるようになった。

### 代表者からのメッセージ

事業承継という大きな取組を進める助けになればと当事業に参加したが、知的資産経営報告書の作成に社員全体で取り組むことで当初の目的以外に人材育成の面でも良い影響があった。知的資産経営の取り組みは社長、経営幹部だけではなく、係長、主任クラスも巻き込み、全員で一緒に行うことでより効果が上がると感じている。



「社員一同で作成した知的資産経営報告書を手に」

### 会社 DATA

#### イカリ消毒沖縄株式会社

■所在地: 南風原町字兼城185-1

■事業内容: 有害生物防除・異物混入対策・教育訓練支援  
規格認証支援

### 会社概要

全国展開のイカリ消毒(株)の沖縄営業所として43年前に開設して以来「広く社会のために環境事業を通じて明るい健康的な街づくりに精励しよう」を経営理念に地域に密着した衛生管理に関わる総合サポートを提供しています。食の「安心・安全」を実現するために、有害生物防除管理や異物混入対策のためのSS活動のサポート、従業員教育訓練支援、HACCP・ISO・AIB等の各種認証取得のためのコンサルティング業務、様々な対策別機器のラインナップ等、業種や規模に合わせた、きめ細やかなサービスをご提供しています。

CASE 02



「社員全員で会社の今後を話し合うビジョン発表会」

### 会社 DATA

#### 株式会社スピア

■所在地: 中城村南上原726-1 キャンパスサイド白石2F

■事業内容: データ登録アウトソーシング、Web情報収集・登録、ソフトウェア検証、電子書籍制作、システム開発

### 会社概要

(株)スピアはデータエントリーを主業務に19年前に創業しました。得意な入力を生かし、データ登録の受付業務、編集集計業務やプログラム開発を行っており、2015年には検証業務も開始しました。育児休業制度の導入など、働きやすい環境の整備に取り組むことで従業員の定着率を高め、技術力を蓄積する事ができました。その技術力で、お客様の多様なニーズに対応できるところがスピアの最大の魅力です。「人とコンピューターの可能性をつなぎ、社員と顧客の生活を豊かにする」を経営理念に、これまでに培ったノウハウとチームワークで、時代の変化に対応できる会社をめざします。

### 質問1 知的資産経営に興味をもった理由は？

他社の社長さんから話を聞いて興味を持った。当時当社は経営理念や将来ビジョンの明確化に取り組んでいたが、納得いくものを見つけられずに苦慮している状況だった。シンポジウムに参加し講師の森下先生のお話を聞き、会社の分析がしっかりできるのではないかとピンときた。

### 質問2 事業に参加して大変だったことは？

中城から那覇まで通うのが大変だった(笑)講座への出席と、帰ってから宿題をこなす時間の確保に苦慮した。最初はみようみまねで時間がかかったが、後半からはやり方がわかり、そこからは順調に進められるようになった。

### 質問3 事業に参加して得たものや、良かったことは？

自分たちで知的資産経営レポートの作成までできるのか自信がなかったが、学校の授業のように講義を聞くスタイルではなく、各企業毎に中小企業診断士が専任の担当として一人ずつついてサポートしてもらえたのが良かった。ある程度の負担はあったが自分たちの強みが認識でき、それを反映したレポートをつくることができた。ビジョンが明確になったのでアクションプランが作成がしやすくなった。

### 代表者からのメッセージ

知的資産経営に取り組むことで業務プロセスやKPI等がはっきりとわかるようになり、会社として行うべきことが明確になります。また講座は集合研修ではなく、個々の参加企業に寄り添うスタイルで行われるので、自分たち独自の具体的な結果を得ることができました。現在は外向けには営業ツールとして金融機関向けの資料として利用し、社内向けにはビジョン発表会等でも使っており、今後はリクルーティングにも活用したいと思っています。